

# さんようおのだ 議会だより

2015.11

26 年度決算認定 — 2

委員会レポート — 5

一般質問 — 8

議決結果 — 13



# 新年度予算に生かす

一般会計予算決算常任委員会では、平成 26 年度決算と平成 27 年度補正予算の 2 議案を中心に、4 日間にわたり審査が行われました。

## ■平成 26 年度一般会計決算

平成 26 年度決算審査では、主要事業のうち 31 事業を抽出し、事業評価シートなどに基づいた具体的な決算審査が行われました。この方式での決算審査は 3 年目となり、翌年度の予算編成に生かされる決算審査が定着しつつあります。採決の結果、賛成多数で認定されました。

## ～ 3 つの事業の審査経過を報告します～

### ◎転入促進事業

本市に転入して新築住宅や中古住宅を購入した場合、固定資産税分を 5 年間交付する制度です。交付件数が増加しています。



#### 転入奨励金交付件数の状況

	平成 25 年度	平成 26 年度
新築	44	54
中古	15	14

#### ◆委員会での主な質疑

**問** 「定住促進事業」の最終目標は転入者を増やすことだが、第 2、第 3 の事業も視野に、総括が必要ではないか。

**答** この制度はかなりの成果があり、今後地方創生事業の枠組みの中で検討したい。

#### <議会からの提言>

人口減少に歯止めをかけ、定住促進を図るため、新たな転入促進事業を早急に実施すること。

### ◎乳幼児医療費助成制度

平成 26 年 8 月より小 1 から小 3 までの医療費自己負担分を 3 割から 2 割に軽減しました。(所得制限あり)



#### 県下の実施状況 (10 月末現在)

助成対象年齢	自治体数
就学前	7
小学校 3 年まで	3
小学校卒業まで	4
中学校卒業まで	5

#### ◆委員会での主な質疑

**問** 宇部市などでは中学校卒業まで医療費助成を拡充している。地方創生交付金なども活用して充実が必要ではないか。

**答** 今回の地方創生交付金は平成 27 年度までである。今後、地方創生事業の中で積極的な戦略に位置付けていく。

#### <議会からの提言>

少子化対策の重要な位置付けとして、乳幼児医療費助成制度拡充事業を他市に劣らないものに充実させること。

# 決算審査をしました

## ◎公共交通活性化事業

公共交通の活性化を図るため厚狭北部地域で平成26年度よりデマンド交通を導入しました。



### ◆委員会での主な質疑

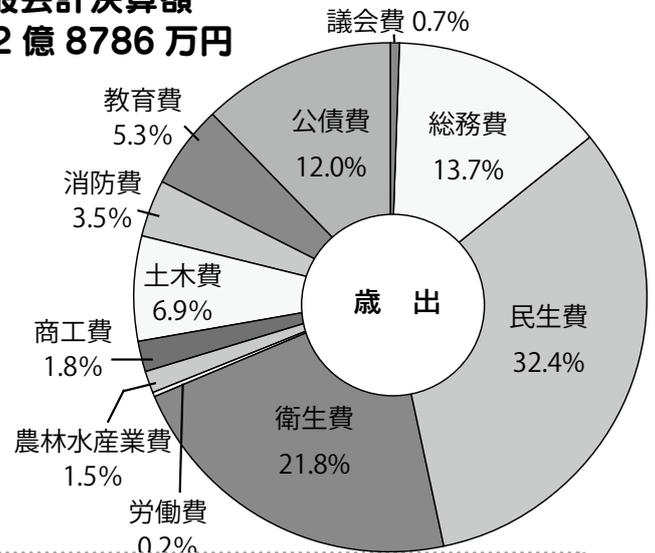
**問** デマンド交通だけでなく、小野田地区バス路線の抜本的な改革など市全体の「連携計画」の実施が必要ではないか。

**答** 「連携計画」の目的は公共交通の効率化だが、まだ実現できていない。新しい交通網計画を新たに策定したい。

#### <議会からの提言>

一向に進まない地域公共交通活性化事業の早期遂行を図り、本市の交通体系を確立すること。

一般会計決算額  
292億8786万円



### 委員会中継が始まりました

9月議会から各委員会のインターネット配信を行っています。

ユーチューブやユーチューブによる委員会中継は、スマートフォンからでも視聴できます。

\*市議会のホームページからアクセスできます。

## ■平成27年度一般会計補正予算

### ～職員駐車場予算を削除しました～

今回の補正予算で特に問題となったのは、厚狭地区複合施設の職員駐車場の整備と厚狭陶好会館（市老人福祉作業所）の移設整備など（1684万7000円）です。これは、当初職員駐車場は施設の敷地内で計画していましたが、来客用の駐車場を確保するため敷地外である現在の厚狭図書館横の市有地に整備し、あわせて厚狭公民館横に設置されている厚狭陶好会館を市有地に新築するものです。

#### 《審議での指摘事項》

- ・駐車場の進入路は幅員も狭く、地域住民に影響が大きい。
- ・厚狭公民館を取り壊すことは当初計画で決まっていたが、陶好会館について、なぜ当初計画になかったのか。
- ・陶好会館の移設に1300万円もかける必要があるのか。
- ・場所の選定も含め、再検討が必要である。

\*以上の議論を踏まえ、駐車場の場所の見直しや陶好会館の計画の見直しを求めて予算を全額削除し、修正案は可決されました。



# 新たな委員会体制となりました！

議員の任期4年の折り返しとなる10月臨時会で、常任委員会の所属など新たな体制が決まりました。議長、副議長については今期より任期を4年としたため、引き続き職務にあたります。



議長 尾山信義



副議長 三浦英統

## 総務文教常任委員会



河崎平男 笹木慶之 岡山明  
大井淳一郎 ◎河野朋子 ○中島好人

## 民生福祉常任委員会



小野泰 吉永美子 岩本信子 石田清廉  
○矢田松夫 ◎下瀬俊夫 三浦英統

## 産業建設常任委員会



山田伸幸 伊藤實 松尾数則  
杉本保喜 ◎中村博行 ○長谷川知司

(◎委員長、○副委員長)

## 一般会計予算決算常任委員会

委員長 伊藤 實 副委員長 小野 泰  
委員 岡山 明 委員 河野 朋子  
委員 笹木 慶之 委員 下瀬 俊夫  
委員 中村 博行 委員 松尾 数則  
委員 矢田 松夫

## 議会運営委員会

委員長 大井 淳一郎 副委員長 河崎 平男  
委員 石田 清廉 委員 下瀬 俊夫  
委員 矢田 松夫

## 議会のあり方調査特別委員会

委員長 矢田 松夫 副委員長 河崎 平男  
委員 石田 清廉 委員 伊藤 實  
委員 河野 朋子 委員 下瀬 俊夫  
委員 松尾 数則

## 山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会

委員長 伊藤 實 副委員長 笹木 慶之  
委員 石田 清廉 委員 大井 淳一郎  
委員 河野 朋子 委員 中村 博行  
委員 長谷川 知司 委員 山田 伸幸  
委員 吉永 美子

## ■ 総務文教常任委員会

### 特別会計

◎ 26年度オート事業会計決算認定

#### 来年度耐震改修へ

**概要** 歳入歳出合計それぞれ72億5114万4871円、79億8817万1964円となり、差引き7億3702万7093円の不足は、平成27年度の歳入を繰り上げて、これに充てています。

包括的民間委託料は、6億2181万3487円、地域公益事業は326万4516円で、その主なものとして、保育所のバルコニー改修や空調設置、小中学校のトイレ洋式化などを行いました。

**主な論点** 「山陽場は1人当たりの購買額が高いので、本場開催の日数を増やす検討をしてみようか」との質問に「現在46日と他場に比べ少ないが、支出との関係もあるので委託先と協議して考えていく」との答弁がありました。

「施設改善基金が5億3000万円あるが、使途予定はどうか」との質問に「27年度補正で走路改修、28年度予算で耐震改修工事を予定している。耐震改修工事は2億5000万円程度かかる見込みで市の負担は約1億6000万円程度となる。従って施設改善基金の残額は、約3億円弱となる」「以前から指摘している債務の返済計画についてはどうか」の質問に「28年度の予算編成時には提示する」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

### 所管事務調査

#### 現状維持は可能か

7月に教育委員会が行った「アレルギー食対応の先進地である長野県松本市東部給食センターへの視察」について総務委員会で調査をしました。

松本市では7800食に対してアレルギー対応が74人、本市では5500食に対し、現在対応しているのは104人であり、その比率がずいぶん違ってきます。「本市での現状を下回らない対応ができるのか」「どのような方針でアレルギー対応をするのか」ということが課題として明らかになりました。

具体的な内容は来年度立ち上げる「学校給食運営委員会」で協議されます。

#### 厚狭地区複合施設の視察

主棟、体育館が完成した厚狭地区複合施設を視察に行きました。ワークショップなどで出た市民の声や委員会での指摘事項などが十分反映されているのかといった意見が出ました。供用開始は28年2月の予定です。



← 厚狭地区複合施設



# 委員会レポート

## ■ 民生福祉常任委員会

### 特別会計

#### ● 26年度国民健康保険会計決算認定

#### 約3億3千万円の黒字

**概要** 歳入総額79億9874万3417円、歳出総額76億7022万7789円で差し引き3億2851万5628円の黒字決算となりました。

**主な論点** 「医療費高騰の要因となる多受診等の状況は」との質問に「多受診者は市内に数名いるが、医療費に及ぼす影響は小さい。1人で10病院に掛かるなど依存的な側面がある」「基金残高は」との質問に「27年度当初に約1億225万円取り崩し、27年度末見込額は約5億3601万円だが、26年度決算繰越分は未定」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

### 企業会計

#### ● 26年度病院事業会計決算認定

#### 新病院グランドオープン

**概要** 26年度は新病院への移転、休診、院外処方完全実施により医業収入、経費ともに減少しました。また会計制度変更もあり特別損失が発生しました。

**主な論点** 「特別損失の内訳は」との質問に「退職給付引当金に11億2500万円、賞与引当金に9400万円、旧病院解体による固定資産除去損6億7200万円である。27年度以降は発生しない」「新病院建設の総事業費は」との質問に「24年度の当初計画は57億6600万円だったが、仕様書除外の工事、労務単価の高騰、医療情報システム、追加工事、アスベスト工事等で66億6049万8000

円となった」「地元発注枠は30億円の契約だったが、20億円となった理由は」との質問に「約9億円の空調設備工事の完成を間に合わせるために市外業者に発注した。その違約金は167万円となる」「アスベスト除去工事1億6000万円が追加となった理由は」との質問に「契約には調査費のみの計上で、発見した場合は追加工事となる仕様であった」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

### 条例

#### ● マイナンバーカード発行手数料の条例

#### マイナンバー制度発進

**概要** 船員手帳事務手数料の改正、マイナンバー制度の個人番号カード等の再交付手数料を新設し、住基カードの交付、再交付手数料を削除する。

**主な論点** 「再交付の手数料は」との質問に「最初のカード発行は無料である。情報漏えい等で番号変更や追記欄の余白がなくなる等はカード交換で無料となるが、紛失等によるカード再発行の場合は有料になる」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成



## ■ 産業建設常任委員会

### 特別会計

#### ◎ 26 年度駐車場会計決算認定

##### 駐車場利用台数が増加

**概要** 厚狭駅南口の駐車場利用台数は3万5029台、これまでの右肩下がりから増加に転じました。年間の使用料収入は2734万2050円で、公営企業金融公庫への償還金は1979万6362円です。この償還は平成30年度に終わる予定です。

**主な論点** 「利用台数が増加した理由は何か」との質問に「高速道路の割引率が低くなったことに伴って駐車場の利用が増えたのではないかと思う」「料金改定の予定はあるのか」との質問に「平成28年度から若干値下げできるかを検討している」との答弁がありました。

**結果** 賛成多数

#### ◎ 26 年度下水道会計決算認定

##### 下水道普及率あまり進まず

**概要** 平成26年度末の下水道普及率は52.0%、水洗化率は90.0%であり、いずれも県全体を下回っています。使用料は近隣に比べ高いですが、一般会計から9億7530万円を繰り入れているのが現状です。収納率は現年度分で98.8%です。

**主な論点** 「前年度に比べて下水道普及率が0.3%しか進んでいない理由は何か」との質問に「国の補助金が要望の8割となり、工事が2割できなかつたことなどが考えられる」「下水道認可区域の見直しはどのような計画か」との質問に「共和台や上の郷など

投資効果が高い周辺にある郊外団地を取り込む計画としている」との答弁がありました。

**結果** 賛成多数

### 企業会計

#### ◎ 26 年度水道事業決算認定

##### 有収水量が大幅な落ち込み

**概要** 有収水量（水道料金の対象となる水量）が737万9000トンと前年度に比べて大幅に落ち込んだため、料金収入が5775万円余りの減収となりました。これは前年度純利益の37%に相当する額です。

**主な論点** 「有収水量が大幅に減少した要因は何か」との質問に「年間を通じて晴天日が少なかったこと、節水機器の普及や節水意識の高まりが考えられる」「水道料金は県下で何番目の高さか」との質問に「13ミリ口径・10トン使用した場合だと県下3番目の高さである」との答弁がありました。

**結果** 賛成多数



← 高天原浄水場



# 一般質問

## 商店リニューアル助成の創設を

中島 好人 議員

**問** 住宅リフォーム事業は、平成25年度992万円の助成額で総事業が1億7000万円と17倍の経済波及効果となっている。地域経済を循環型の方向へ事業を展開すべきである。宇部市や防府市では、空き店舗対策事業やまちなか店舗リフォーム事業を行っている。国の「新型交付金」を活用して商店リニューアル助成事業を実施すべきである。

**答** 商業振興の施策として良いものと思っ  
ている。財源など加味して検討する。



## 救急車を安易に呼ぶなどは？

下瀬 俊夫 議員

**問** 2月に「安易に救急車を呼ばないように」とのアピールが出された。救急患者の8割が軽症というが、それは医師の診断の結果だ。目の前で苦しむ患者を家族が重症か軽症か判断できるわけがない。このアピールでは救急車が  
必要な患者に我慢を強いることになるのではないか。

**答** 救急医療の8割が軽症患者で、医療従事者の疲弊や重症患者の受け入れが困難な状況も生まれている。だが、決して救急車を呼ぶなというわけでは  
ない。



## 貴重な記録写真のデジタル化を

河崎 平男 議員

**問** 図書館などの公共施設には貴重な写真が数多くあり、記録保存として、データベース化およびデジタル化すべきではないか。

**答** 歴史民俗資料館所蔵品の9割近くは、写真データで保存している。それ以外の厚狭図書館などで所蔵の資料や文化財、フィルム、写真などは文化財の保護継承を図る観点から、大切な資料としてデジタル化を少しずつでも進めていきたい。



貴重な記録写真

## 市民と職員でまちの未来を

河野 朋子 議員

**問** まちの将来像を示す「総合計画」だが、現在の「第一次総合計画」の策定は、このまちに関わりがないコンサルタント任せだったのではないか。平成30年度から10年間の「第二次総合計画」は、市民と職員の力を合わせて策定すべきと思うがどうか。

**答** コンサルタントに丸投げという点では、厚狭地区コンパクトシティの例など非常に苦々しく思うこともある。指摘の点は胸に刻んで、企画課その他の部署も含めて指導する。



第一次総合計画



# 一般質問

## 健康遊具の設置を

岡山 明 議員

**問** 高齢者社会が進展する中、老老介護など、高齢者を取り巻く環境が厳しさを増している。健康遊具はもともと自分が介護されないために利用するものであったが、介護する高齢者が、介護が必要な人を支えるために、自分の体力を維持・強化する目的としても大きな役割がある。高齢者向け健康遊具の設置が必要ではないか。

**答** 健康遊具の必要性を痛感した。担当部署の職員をそうし、先進地に視察、出張させる。



## 厚陽小中を「義務教育学校」に

中村 博行 議員

**問** 来年度から学校教育法の改正により9年間を見通した小中一貫教育を展開できる「義務教育学校」の創設が可能になった。児童生徒の減少対策として、地元の要望も聞いていると思うが、将来ビジョンについてどう考えているか。

**答** 施設一体型小中連携校としてリニューアルして以来、地域と共にある学校づくりを実践し、地区の中核施設として定着している。今後は「義務教育学校」の新設も視野に入れ、県や国の動向も注視しながら鋭意検討していく。



厚陽小中学校

## 学校給食会計の改善を

岩本 信子 議員

**問** 学校給食センターになると、学校給食の実施主体と滞納給食費の債務者と債権者はどうなるのか。

**答** 学校給食の実施主体は、「学校給食法」では市にあるように捉えられるが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では教育委員会にある。教育総合会議で、金銭の流れや債権者や債務者、滞納、食材の購入等の要綱をきちんと作る。



## 来年度中にも長年の規制を解除！

長谷川 知司 議員

**問** 市の発展のためには小野田駅前地域の整備はとても重要であり、今年度の施政方針でも、50年以上未整備状況の小野田駅前の区画整理事業区域の整備が言われているが、進捗状況はどうか。

**答** 地元および国、県と、何回も事業可能な手法を協議中であるが、早ければ平成28年度中にも土地区画整理事業による規制の網を外せる状況である。





# 一般質問

## 厚狭・小野田駅の南北通路は

笹木慶之議員

**問** 市の構想にある両駅の南北通路は、長年具体的対応がない。厚狭駅周辺のコンパクトシティ、小野田駅前土地区画整備事業の事業化における位置づけはどうか。市の核である地域のインフラ整備として事業化すべきではないか。

**答** 厚狭駅の自由通路、小野田駅の橋上化については、それぞれ事業化を含んだ計画となっていない。絶えず議論はしているがどちらも事業費が大きいので、まず人口定住の促進事業を整備し事業化できる条件を整えることに集中したい。



厚狭駅新幹線口

## マイナンバーの情報漏えい対策を

山田伸幸議員

**問** マイナンバー制度にはプライバシー侵害などの犯罪のおそれ、巨額な初期投資に見合わない費用対効果。徴税強化、社会保障の給付削減の手段とされるなどの問題がある。秘密保護法とともに国民に対する監視システム構築が最大の問題点である。市の情報漏えい対策は大丈夫か。

**答** 個人情報保護条例を改正し、個人情報を適正に取り扱う。職員の研修を行い適正な取り扱いに努める。システム面では個人情報の分散管理を行うなど、芋づる式の情報漏えいを防いでいく。



## 埴生小・中連携校は地元の理解を

小野泰議員

**問** 埴生地区の小中連携校については、埴生中学校の敷地を提案しているが、地元はどのように受け止めているのか。

**答** 基本的なスタンスとしては、理解を得るために、保護者、地域の住民を含め、全ての方の意見を聞く意見交換会として開催している。施設一体型の小中連携校について、受け止め方は賛否両論あるが、その中で最善のものを決定していこうとしている最中である。



小中連携校が計画される埴生中学校敷地

## 動物と共生できる社会を目指して

吉永美子議員

**問** 動物愛護について、不要で不幸な命を生み出さないために何度も提案してきた、避妊・去勢助成制度をなぜ導入できないのか。

**答** とりあえず、議員提案の「飼い主のいない猫のトラブル解決法講座」に環境課の職員にぜひ行ってもらおうと思う。そこでまず学習して、その上で議員の意見とは相いれないのか、それとも最もいいのか検討する。財源についても、大きいものでなくていいから、市の姿勢をまず示すべきと言う議員の発言を参考にしながら対応していく。



「猫のトラブル解決講座」のチラシ



# 一般質問

## 教育現場の現状と課題は

石田 清廉 議員

**問** 義務教育現場は、社会の急激な変化に伴い、複雑、多様化する教育課題への対応が求められる。次代を生き抜く力を育むために学校、家庭、地域の教育力の改善など積極的な取り組みが重要だ。市の目指す教育方針はどうか。

**答** 新教育委員会制度により総合教育会議を設置し、児童生徒の生命、身体の保護、学力向上、いじめ対策など協議していく。また基本的生活習慣の乱れや自制心、規範意識の低下などに対し、教育力の向上に努めていく。



## JR 小野田駅周辺の整備状況は

杉本 保喜 議員

**問** 都市核として小野田駅周辺市街地の整備促進の現状と今後の計画はどうか。今回の計画に含まれないが、南北の一体化や、通学の利便性、防災上の避難路としての鉄道を跨ぐ自由通路を地域が熱望しているがどうか。

**答** 区画整理事業の代替え事業として都市再生整備事業を見込み、その整備計画案の策定において、半年間地域との協議会等6回実施して、意見を反映するよう取り組んでいる。街灯は、並行して整備する。橋上自由通路は、JRの調整や予算を含め困難である。



日の出（J）田遠望

## 地元企業の育成、優遇策を！

伊藤 實 議員

**問** 公共事業、物品購入等、市の発注する事案について適正価格で購入することは当然であるが、現状は価格競争による歳出の削減に重きが置かれ過ぎ、市外、県外の大手業者が適正より低い価格で落札する事も少なくない。これでは地元企業が当市に居住するメリットはなく、廃業も含め当市から離れていく。早急に育成、優遇対策を講じる必要があるのではないか。

**答** 10月から入札の基準を見直すなど対策を講じる。



ニュース

## 議員研修会に参加しました

山口県市議会議員研修会

8月19日（水）萩市市民館で行われた市議会議員研修会に17名の議員が出席しました。

【講演内容】

第1部「地方議会の運営と改革」

全国都道府県議会議長会 野村稔 元部長  
第2部「議会と地方創生～議会・議員は地方創生にどう取り組むか～」

新潟県立大学 田口一博 准教授

1部では議会運営のあり方と改革を、2部では地方創生に関し議会・議員は何をどう取り組むべきか等、直面する課題に対応した実践的な意義深い研修でした。



# 視察報告

## ◎議会運営委員会

視察者 ■ 大井淳一郎 石田清廉 河崎平男  
下瀬俊夫 矢田松夫

視察日 ■ 8月24日～25日

### ○北海道芽室町議会

- ①議会活性化計画の策定
- ②議会サポーター制度
- ③議会モニター制度、議会改革諮問会議
- ④議員研修計画の策定
- ⑤大学院との包括連携協定 ほか

#### <考察>

全議員が一丸となって議会基本条例の進行管理に携わり、議会モニター制度など外部の意見や提言を政策形成に生かしていた。現在進めている議会基本条例の検証作業及び議会改革の方向づけの参考としたい。

### ○北海道帯広市議会

- ①インターネットによる委員会中継
- ②議会ホームページの充実 ほか

#### <考察>

委員会中継のカメラは固定式ではなくズームアップが可能である。また、ネット中継を見ることができない市民のために、公共施設などで視聴可能となっていた。本市議会が課題としている情報公開度アップの参考としたい。



←北海道芽室町

## ◎会派「市民クラブ」

視察者 ■ 矢田松夫 尾山信義 長谷川知司

視察日 ■ 10月13日～14日

視察先 ■ 京都府京丹後市

#### <内容>

まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」について

#### <状況>

2060年には現在の人口（55,533人）の約1.36倍（75,677人）を目指す

そのために、4つの基本目標を設定

- 1. 仕事をつくり、安心して働けるようにする
- 2. 新しいひとの流れをつくる
- 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### <考察>

将来人口増の設定には、攻めの姿勢で行政を進めていく気迫を感じる。（トップのリーダーシップによるところが大である）

そのためにさまざまな施策を打ち出していて、はじめに予算ありきでなく、できるところから進めているのは評価に値する。

そして、そのための予算は、市だけでなく国、府などあらゆるところからの財源確保に努めている。



←京都府京丹後市

# 議決結果

## ◎議案に対する議員の賛否状況

9月定例会で議案等32件を審議し、賛否の分かれた11件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成 27 年 9 月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																				
		石田清廉	伊藤實	岩本信子	大井淳一朗	岡山明	小野泰	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	下瀬俊夫	杉本保喜	中島好人	中村博行	長谷川知司	福田勝政	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	尾山信義
平成 26 年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
平成 26 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
平成 26 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
平成 26 年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
平成 26 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
平成 26 年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度山陽小野田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
平成 26 年度山陽小野田市病院事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
平成 26 年度山陽小野田市水道事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○
山陽小野田市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	×	○	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 —：棄権又は欠席

尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

小野泰議員は監査委員であるため決算認定の採決には加わりません。



## ◎議会改革のバージョンアップにむけて

8月12日山梨学院大学教授の江藤俊昭氏を講師に招き、市議会研修会を実施しました。江藤教授には議会基本条例制定時に専門的立場から提言をいただいた経緯があり、この度も今後どのように議会改革を進めていくべきかについて講演していただきました。

その後、議員から活発な意見が出されるなど大変有意義な研修となりました。

<骨子>

- 議会は議決のみならず議決したものを検証する段階にきている。
- 4年間どうするかという通任的発想が必要。
- 議会基本条例を中心に議会改革の達成度を議員各々がチェックすべきである。
- 「～した」で終わるのではなく、住民福祉の向上にどうつながるかを示すべきである。



お知らせ

### 12月定例会会期日程(予定)

#### 本会議の日程

12月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

開会時間は午前10時です。

月 日	本会議
12月 2日(水)	議案上程・説明
12月10日(木)	一般質問
12月11日(金)	一般質問
12月14日(月)	一般質問
12月15日(火)	一般質問
12月18日(金)	質疑・討論・採決

## 編集室より



街路樹も色づき始め、秋の深まりを感じる季節になりました。

さて、議会広報部会では「わかりやすい議会だより」を目指して、原稿作りや編集に努めてきましたが、現メンバーでの発行は今回で最後となります。

これからも議会の広報広聴活動のさらなるレベルアップのために努力していきます。ご意見やご感想をぜひお聞かせ下さい。

#### ◎広報広聴特別委員会議会広報部会

委員長 三浦英統 副委員長 山田伸幸  
 部会長 河野朋子 委員 岩本信子  
 委員 大井淳一郎 委員 河崎平男  
 委員 笹木慶之 委員 下瀬俊夫



《表紙の説明》 総務文教常任委員会が完成したばかりの厚狭地区複合施設の視察を行いました。写真は図書室で床は緑、壁は稲穂をイメージした黄色系にまとめられています。窓が南向きで明るい雰囲気です。来年2月からの供用開始です。